

寅さんに学ぶ

(11月の職員会議資料より)

★寅さんが語った「勉強しなきゃいけない理由」

《第40作『男はつらいよ 寅次郎サラダ記念日』より》

「おじさん、質問していいかな。」（川の土手に二人）

「あまり難しいことは聞くなよ。」（寅さんは、寝っ転がってる）

「大学へ行くのは何のためかな。」

「決まっているでしょう。これは勉強するためです。」（寅さん、自信たっぷり）

「じゃ、何のために勉強するのかな。」

「えっ、そういう難しいこと聞くなっていたら。」（寅さん、起き上がる）

「人間、長い間生きてりゃいろんな事にぶつかるだろう、なあ。そんな時に俺みてえに勉強してないヤツは、この振ったサイコロの出た目で決めるとか、その時の気分で決めるしかしょうがない、な。」

ところが、勉強したヤツは自分の頭で、きちんと筋道を立てて、“はて、こういう時はどうしたらいいかな？” と考える事が出来るんだ。だからみんな大学行くんじゃないか、だろ。」

「久しぶりにきちんとしたこと考えたら、頭痛くなっちゃった。」

★同じく、寅さんが語る「生きていく意味」について

《第39作『男はつらいよ 寅次郎物語』より》

（満男が寅さんを駅に見送りに行く場面。駅を前にして、寅さんが、財布からお金…このお金はさくらが寅さんの空っぽの財布をみて、可哀想になり、こっそり入れたもの…を出して、これで参考書でも買えといったとき）

「おじさん」

「何だ」

「人間てさ、」

「人間？人間どうした！」

「何のために生きてんのかな？」

「うーん、お前、難しいこと聞くなあ、ええ、うーん、」

（寅さん、空を見上げながら）

「何ていうかな、ほら、“ああ、生まれて来て良かったな” って思う事が何べんかあるじゃない、ね、」（満男、小さくうなずくも、顔は？）

「そのために生きてんじゃねえのか？そのうちお前にも、そういう時が来るよ。うん、まあ、がんばれ」（満男の肩を叩きながら、駅に進む）

★先生方にも先生なりの回答を持っていただきたい。生徒に語ってほしい。